

町の発展にご尽力感謝します

平成18年度の羽幌町表彰者並びに文化賞体育賞の顕彰者が決定しました
近く表彰式並びに顕彰式が開催されますので受彰される方々の功績を紹介します

功績表彰 | 産業功績

石川 士史さん



昭和45年、羽幌町商工会理事に就任、以来28年の長きにわたり商工会の運営に尽力され、平成6年には副会長、平成12年からは会長の要職を歴任されました。

この間、当町の中心市街地における商業機能の空洞化が深刻化する中、商店街の活性化を図るため、中心市街地活性化事業に率先して取り組む一方、TMOの設立に向け奔走し、平成14年には「株式会社ハートタウンはぼろ」の設立、同時に代表取締役役に就任し、平成17年には商業複合施設を建設するなど、中心市街地区の再構築さらには町商工業の伸展に尽力されました。

自ら事業を営む傍ら昭和53年から7期連続28年の長きにわたり羽幌町表彰審議会委員を務められ、平成15年からは会長に就任、表彰審議会運営に多大な尽力をされております。また、平成12年から羽幌地区暴力追放運動推進協議会会長を務めるなど、地域社会の安全のため行政に率先して参画し地域振興の発展に多大な貢献をされました。

善行表彰 | 公益のために金品を寄附

札幌佐藤産業

平成18年7月14日、羽幌町の公益のため高額備品の寄贈をされ、地方自治の振興・発展に貢献されました。

善行表彰 | 町民の模範となる善行

羽幌町寺小屋塾

平成9年の発足以来、小学生を対象として農業、自然、交流、工作、酪農体験などの事業を実施し、地域の教育力の向上に大きく貢献され、他の団体の模範とするところであります。



功績表彰 | 自治功績

竹中 司さん



昭和33年4月、天売消防団員として消防界に身を投じ、以来、平成16年3月まで、46年間の長きにわたり、地域住民の生命財産の保全と地域防災に貢献されました。

この間、部長、分団長、副団長などの要職を歴任され、平成6年4月、温厚誠実な人柄と消防団活動に対する真摯な姿勢から他の団員の信望を集め、団長に就任されました。

「火災のない天売島」を目標に掲げ、島民の防火意識の高揚を図るため、民間防火団体の天売夫人消防隊・天売オロロン少年消防クラブの育成強化に努め、火災予防啓発活動を積極的に推進。これらのことが結実し、天売地区は平成10年12月から現在まで2,700日を越える無火災を続けております。

また、災害発生時には、いち早く出動して状況を把握し、的確な現場指揮を執り被害を軽減されるなど、地域防災に大きく貢献をされました。

善行表彰 | 公益のために金品を寄附

社団法人 羽幌母子友の会

平成17年11月12日、羽幌町の公益のため高額備品の寄贈をされ、地方自治の振興・発展に貢献されました。

善行表彰 | 公益のために金品を寄附

株式会社 アンビックス

平成18年2月、羽幌町の公益のため多額の寄附をされ、地方自治の振興・発展に貢献されました。

善行表彰 | 公益のために金品を寄附

萌州建設 株式会社

平成18年4月1日、羽幌町の公益のため多額の寄附をされ、地方自治の振興・発展に貢献されました。

文化奨励賞

本間 範子さん



昭和58年から長きにわたり、手編み教室、手編みサークルの講師を務め、平成9年に羽幌町の特産品である焼尻綿羊の毛を利用した手編みサークル「綿羊工房アイランドサフォーク」を発足させ、意欲的に会員の指導に努められ、会の運営と手編み技術の発展に尽力されております。

また、平成11年から羽幌町公民館サークル連絡協議会の事務局長として豊かな知識と能力を発揮されるとともに、平成15年には羽幌町文化連盟との統一を図り、新団体である羽幌町文化協会の創設に尽力され、一層の地方文化の創造と発展に貢献されました。

体育協会スポーツ賞 | スポーツ振興賞

佐藤 勝さん

昭和56年に羽幌スキー連盟入会以来、同連盟一級会の創設や事務局長として連盟の組織強化に尽力、さらにジュニアスキー教室やスキー学校など青少年のスキー指導を通して本町スキーの普及発展に貢献されました。

体育協会スポーツ賞 | スポーツ振興賞

坂口 松雄さん

昭和63年から全日本ソフトボール連盟公認審判員として18年の長きにわたり各種大会の開催に尽力され、平成6年から羽幌ソフトボール連盟の監査、平成11年からは副会長として本町ソフトボールの振興に貢献されました。

文化協会賞 | 功労賞

荒関 洋子さん

荒関社中開設以来、28年間の長きにわたり琴の指導に努め、老人ホームや介護施設への慰問を行うとともに、自らも大師範の資格を習得され、地域に根ざした琴の普及発展に尽力されました。

文化協会賞 | 功労賞

稲垣 美和子さん

昭和54年羽幌民謡会に入会し、意欲的に民謡の普及発展に努め、後継者の育成や管内老人ホームへの慰問など積極的に活動し、同会と本町の文化振興に貢献されました。

体育賞

羽幌軟式野球連盟



昭和21年に羽幌野球協会として設立、昭和24年に羽幌軟式野球連盟に再編し野球の普及に努められ、野球人口の増加に大きく貢献されました。

昭和44年のスポーツ公園野球場の整備により、野球大会運営のため審判員の充実、強化を図るとともに、組織強化を図り昭和46年に天皇賜杯全日本軟式野球北海道大会、昭和47年に自治労野球北海道大会、昭和54年に国民体育大会北海道予選大会と全道規模の大会を開催し、町民と一体となり野球の発展に尽力されました。

近年、個人スポーツの普及、青年の町外流出などから加盟団体数が減少するなか、平成17年には2度目となる天皇賜杯全日本軟式野球北海道大会を開催するなど、積極的な活動を展開しております。

本年は羽幌軟式野球連盟設立60周年を迎え、その間に町民へ夢と活力を与え続け、本町スポーツの発展に貢献されました。

体育協会スポーツ賞 | スポーツ功労賞

佐々木 安雄さん

昭和48年のスキー愛好会並びに昭和53年の羽幌スキー連盟の設立に尽力され、全日本スキー連盟準指導員の資格を取得し、昭和56年からは羽幌スキー連盟教育部長として本町のスキーの発展に貢献されました。

体育協会スポーツ賞 | スポーツ振興賞

羽幌軟式テニス愛好会

昭和45年の設立以来、36年の長きにわたり本町軟式テニスの進展に努められ、その間会員の育成や、管内規模の大会を羽幌高校テニス部と連携し開催するなど積極的に事業を進め、本町スポーツの振興に尽力されました。

体育協会スポーツ賞 | スポーツ振興賞

天売体育協会

昭和34年に設立し、野球、卓球、テニスなど天売におけるスポーツ振興の中心として活動され、以来多岐にわたる事業を開催し、島民運動会など島民一体となったスポーツ活動の発展に大きく貢献されました。